

令和元年度

宮崎市大字折生迫財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

宮崎市監査委員

宮 監 第 4 9 号
令和2年9月18日

宮崎市大字折生迫財産区財産管理者
宮崎市長 戸 敷 正 殿

宮崎市監査委員 河 野 まつ子
宮崎市監査委員 荒 木 敏
宮崎市監査委員 上 野 悦 男
宮崎市監査委員 嶋 田 喜代子

令和元年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計
歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和元年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算について、次のとおり意見を提出します。

目 次

大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 種	類	1					
第2 対	象	1					
第3 主	な	実	施	手	続	1	
第4 期	間	1					
第5 審	査	の	結	果	1		
第6 審	査	意	見	1			
第7 決	算	の	概	要			
1 特	別	会	計				
(1) 決	算	収	支	の	状	況	2
(2) 歳	入	2					
(3) 歳	出	5					
2 財	産	の	状	況	7		

凡 例

- 1 文中及び表中の金額は、原則として円単位で算定し、千円未満を四捨五入して表示する。従って、金額の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 2 図中の金額は、原則として百万円未満を四捨五入して表示する。
- 3 文中及び表中の比率は、原則として円単位で算定し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示する。従って、比率の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 4 表中のポイントは、パーセンテージ間の単純差引数値である。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「 0.0 」 該当数値はあるが、単位未満のもの。
 - 「 - 」 該当数値がないもの。
 - 「 △ 」 負数を示し、増減を示すときは減を表す。
 - 「 皆増 」 前年度、該当数値がなく比率が出せないもの。

令和元年度 宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 種類

地方自治法第233条第2項に基づく決算審査

第2 対象

令和元年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算

第3 主な実施手続

宮崎市監査基準第15条及び第16条に基づき、令和元年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計の歳入歳出決算書及び決算書附属書類について、関係法令に準拠して作成されているか又それらの計数が正確であるかを確認するとともに、試査により、各種帳簿、証書類及び提出された関係書類と照合した。

併せて、予算の執行状況及び決算の内容について、関係職員から説明を聴取するとともに、年度比較によって推移の分析を行うなどの方法により審査した。

第4 期間

令和2年8月4日から令和2年9月18日まで

第5 審査の結果

令和元年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算書及び決算書附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつその計数は正確であり、予算の執行及びこれに係る財務会計事務の処理はおおむね適正であると認めた。

第6 審査意見

令和元年度は、平成30年度に引き続き、財産区有の土地や墓地の適切な維持管理及び財産管理台帳の整備に努めたほか、平成31年4月に青島ビーチサイド活性化プロジェクトの事業者である青島プロジェクト株式会社と基本協定の締結を行い、プロジェクトが開始された。

令和元年度の決算額は、歳入総額が1,605万9千円、歳出総額が1,318万8千円で、前年度に比べ歳入が95万7千円(5.6%)、歳出が71万4千円(5.1%)ともに減少している。主な要因は、歳入において基金繰入金、歳出において財産区選挙費委託料が、それぞれ減少したことによるものである。その結果、実質収支額は287万1千円となり、前年度に比べ24万3千円(7.8%)減少した。歳入の予算現額に対する収入率は107.0%、調定額に対する収入率は98.9%である。歳出の予算現額に対する執行率は87.9%で、不用額181万4千円は前年度に比べ115万8千円(39.0%)減少している。今後も引き続き、歳入・歳出のよりの的確な把握・積算に努めるとともに、適正な執行を図られたい。

財産管理事務については、地籍調査の実施地区を対象に35筆の分収林契約地について現地確認を行った。今後とも、地籍調査の実施にあわせ、分収林契約地の調査を行い、財産の適正な管理、把握に努めるとともに、財産管理台帳の整備を図られたい。

宮崎市大字折生迫財産区基金については、基金繰入金の歳入構成比率は、平成30年度の48.8%から皆減となっている。主な要因は、青島ビーチサイド活性化プロジェクトに伴う財産収入により基金からの繰入の必要がなくなったことによるものである。しかしながら、令

和元年度末の残高は、前年度末の残高と同額の 5,250 万円であり、直近 5 年間では 2,150 万円 (29.1%) 減少している状況にある。

今後、青島ビーチサイド活性化プロジェクトによる継続的な歳入が見込まれることから、基金への積立等、有効な活用が図られるよう検討されたい。

第7 決算の概要

1 特別会計

(1) 決算収支の状況

決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	元年度	30年度	増 減	増減率
歳 入 総 額 (A)	16,059	17,016	△ 957	△ 5.6
歳 出 総 額 (B)	13,188	13,902	△ 714	△ 5.1
歳入歳出差引額 (C) (A) - (B)	2,871	3,114	△ 243	△ 7.8
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	0	0	0	—
実 質 収 支 額 (E) (C) - (D)	2,871	3,114	△ 243	△ 7.8

- ・歳入総額は 1,605 万 9 千円 (前年度比 95 万 7 千円、5.6%減)、歳出総額は 1,318 万 8 千円 (同比 71 万 4 千円、5.1%減) であり、歳入、歳出ともに前年度に比べ減少している。
- ・歳入歳出差引額 (形式収支) 及び実質収支額は、ともに 287 万 1 千円 (同比 24 万 3 千円、7.8%減) となっている。

(2) 歳 入

歳入の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	15,002	16,241	16,059	0	182	107.0	98.9
30	16,874	17,222	17,016	0	206	100.8	98.8
増 減	△ 1,872	△ 982	△ 957	0	△ 24	6.2	0.1
増減率	△ 11.1	△ 5.7	△ 5.6	—	△ 11.8	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して 107.0%、調定額に対して 98.9%である。
- ・収入済額 1,605 万 9 千円は、前年度に比べ 95 万 7 千円 (5.6%) 減少している。これは、財産収入が 526 万 6 千円、繰越金が 225 万円、諸収入が 12 万 6 千円増加したものの、繰入金金が 830 万円、使用料及び手数料が 30 万円減少したことによるものである。
- ・収入未済額 18 万 2 千円は、前年度に比べ 2 万 4 千円 (11.8%) 減少している。

〈 款別の状況 〉

(款別収入済額の前年度比較)

(単位：千円・%)

款	元年度	30年度	増減額	増減率	構成比率	
					元年度	30年度
5 使用料及び手数料	5	305	△ 300	△ 98.3	0.0	1.8
10 財産収入	11,722	6,456	5,266	81.6	73.0	37.9
18 繰入金	0	8,300	△ 8,300	皆減	0.0	48.8
20 繰越金	3,114	863	2,250	260.6	19.4	5.1
25 諸収入	1,218	1,092	126	11.6	7.6	6.4
計	16,059	17,016	△ 957	△ 5.6	100.0	100.0

第5款 使用料及び手数料

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	305	5	5	0	0	1.7	100.0
30	305	305	305	0	0	100.1	100.0
増減	0	△ 300	△ 300	0	0	△ 98.4	0.0
増減率	0.0	△ 98.3	△ 98.3	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して1.7%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額5千円は、前年度に比べ30万円(98.3%)減少している。これは、基地の新規貸付がなかったことによるものである。

第10款 財産収入

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	10,582	11,904	11,722	0	182	110.8	98.5
30	6,605	6,662	6,456	0	206	97.7	96.9
増減	3,977	5,242	5,266	0	△ 24	13.1	1.6
増減率	60.2	78.7	81.6	—	△ 11.8	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して110.8%、調定額に対して98.5%である。
- ・収入済額1,172万2千円は、前年度に比べ526万6千円(81.6%)増加している。これは、主に青島プロジェクト株式会社への土地貸付により、土地貸付収入が396万円増加したことによるものである。
- ・収入未済額18万2千円は、前年度に比べ2万4千円(11.8%)減少している。これは、借受人の破産により、土地貸付収入が18万2千円未納となったことによるものである。

第18款 繰入金

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	0	0	0	0	0	0.0	0.0
30	8,300	8,300	8,300	0	0	100.0	100.0
増 減	△ 8,300	△ 8,300	△ 8,300	0	0	△ 100.0	△ 100.0
増減率	皆減	皆減	皆減	—	—	—	—

- ・予算現額、調定額、収入済額は、いずれも0円である。これは、土地貸付収入の増加等により、基金からの繰入の必要がなくなったことによるものである。

第20款 繰越金

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	3,113	3,114	3,114	0	0	100.0	100.0
30	863	863	863	0	0	100.1	100.0
増 減	2,250	2,250	2,250	0	0	△ 0.1	0.0
増減率	260.7	260.6	260.6	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して100.0%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額311万4千円は、前年度に比べ225万円(260.6%)増加している。

第25款 諸収入

(単位：千円・%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	1,002	1,218	1,218	0	0	121.6	100.0
30	801	1,092	1,092	0	0	136.3	100.0
増 減	201	126	126	0	0	△ 14.7	0.0
増減率	25.1	11.6	11.6	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して121.6%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額121万8千円は、前年度に比べ12万6千円(11.6%)増加している。これは、宮崎県森林整備事業補助金が12万6千円増加したことによるものである。

(3) 歳 出

歳出の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
元	15,002	13,188	1,814	87.9
30	16,874	13,902	2,972	82.4
増 減	△ 1,872	△ 714	△ 1,158	5.5
増減率	△ 11.1	△ 5.1	△ 39.0	—

- ・執行率は、予算現額に対して87.9%である。
- ・支出済額1,318万8千円は、前年度に比べ71万4千円(5.1%)減少している。これは、議会費が3万4千円、諸支出金が8千円増加したものの、総務費が75万6千円減少したことによるものである。
- ・不用額181万4千円は、前年度に比べ115万8千円(39.0%)減少している。

〈 款別の状況 〉

(款別支出済額の前年度比較)

(単位：千円・%)

款	元年度	30年度	増減額	増減率	構成比率	
					元年度	30年度
10 議 会 費	1,640	1,606	34	2.1	12.4	11.6
15 総 務 費	6,528	7,285	△ 756	△ 10.4	49.5	52.4
20 諸 支 出 金	5,020	5,012	8	0.2	38.1	36.1
25 予 備 費	0	0	0	—	0.0	0.0
計	13,188	13,902	△ 714	△ 5.1	100.0	100.0

第10款 議会費

(単位：千円・%)

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
元	1,715	1,640	75	95.6
30	1,655	1,606	49	97.0
増 減	60	34	26	△ 1.4
増減率	3.6	2.1	52.5	—

- ・支出済額164万円は、前年度に比べ3万4千円(2.1%)増加している。これは、旅費が1万2千円減少したものの、報酬が4万4千円、交際費が2千円増加したことによるものである。
- ・不用額7万5千円は、各費目の執行残である。

第15款 総務費

(単位：千円・%)

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
元	6,603	6,528	75	98.9
30	9,768	7,285	2,483	74.6
増 減	△ 3,165	△ 756	△ 2,409	24.3
増減率	△ 32.4	△ 10.4	△ 97.0	—

- ・支出済額652万8千円は、前年度に比べ75万6千円(10.4%)減少している。これは、墓地維持管理費が51万円、財産管理費が14万5千円増加したものの、財産区選挙費が139万3千円、一般管理費が1万9千円減少したことによるものである。主な要因は、財産区選挙が無投票選挙となり委託料が減少したことによるものである。
- ・不用額7万5千円は、各費目の執行残である。

第20款 諸支出金

(単位：千円・%)

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
元	5,021	5,020	1	100.0
30	5,012	5,012	0	100.0
増 減	9	8	1	0.0
増減率	0.2	0.2	皆増	—

- ・支出済額502万円は、前年度に比べ8千円(0.2%)増加している。これは、宮崎市への繰出金(負担すべき人件費相当分)が8千円増加したことによるものである。

第25款 予備費

(単位：千円・%)

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
元	1,663	0	1,663	0.0
30	439	0	439	0.0
増 減	1,224	0	1,224	0.0
増減率	278.8	—	278.8	—

- ・予算現額は166万3千円で、予備費の充用はなかった。

2 財産の状況

財産の状況は、次のとおりである。

区 分	単位	前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高
1 土 地 等	m ²	345,009.10	0.00	345,009.10
墓 地	m ²	30,403.00	0.00	30,403.00
青島公園墓地 953区画				
白坂墓地 81区画				
五庵園墓地 5区画				
山 林	m ²	16,110.91	0.00	16,110.91
※ 山林(立木の推定蓄積量)	m ³	2,860.43	2.10	2,862.53
原 野	m ²	252,681.15	0.00	252,681.15
※ 原野(立木の推定蓄積量)	m ³	8,351.09	6.13	8,357.22
溜 め 池	m ²	3,064.00	0.00	3,064.00
宅 地	m ²	22,156.05	0.00	22,156.05
地 上 権 設 定 地	m ²	6,276.00	0.00	6,276.00
そ の 他	m ²	14,317.99	0.00	14,317.99
2 出 資 に よ る 権 利	千円	883	0	883
宮崎中央森林組合出資金	千円	883	0	883
3 基 金	千円	52,500	0	52,500
折生迫財産区基金	千円	52,500	0	52,500

※土地等の合計には、山林及び原野の立木の推定蓄積量を含まない。

- ・土地等（山林及び原野の立木の推定蓄積量を除く）については、決算年度中において増減はなかった。
- ・出資による権利の決算年度末現在高は88万3千円、基金の決算年度末現在高は5,250万円で、いずれも決算年度中において増減はなかった。



